

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査書

4-Ⅱ-1

4-Ⅱ-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	解説パネル等の整備
	節 Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	関連団体	県文化行政課
事業概要	【事業目的】	○解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。	
	【事業内容】	○最新の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等のガイダンスに必要となる基本的な説明媒体の整備を行う。	
30 事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●平成31年度に策定する史跡整備基本計画において、解説パネル設置箇所や整備内容を検討する。 ●平成29年度に策定したサイン計画(サインデザイン含む)に基づき、外国語表記や解説内容の検討を行ったうえで、解説パネルを設置する。 	
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●史跡整備基本計画策定作業の中で、解説パネル設置箇所や整備内容を検討した。 ●サイン計画に基づき、鶴子銀山跡に解説サイン15基(日・英表記)を設置した。 ●多言語対応のため、解説パネル以外の言語を現地誘導用のガイドアプリに実装した。 	
課題・今後の取組	【課題】	■解説パネルの更新等について、今後、最新の調査研究成果に基づいた表記の変更や計画的な解説板の設置が必要である。	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■計画的な解説サインの設置を行う。また、新たな調査研究成果が出された場合、関係者と協議のうえ、外国語表記や専門用語の解説を検討する。 ■史跡整備基本計画及び平成29年度に策定したサイン計画(サインデザイン含む)に基づき、令和4年度までに解説・歩行者誘導・注意喚起等の120基のサインを新たに設置する予定。 (4-1-7遺跡案内表示の整備、充実と連動、4-Ⅱ-3・多様な説明媒体の整備と連動) <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 53基(上相川地区、大間地区) ・令和3年度 47基(上寺町・西三川地区) ・令和4年度 20基(吹上石切場跡、片辺・鹿野浦海岸石切場跡、戸地地区) 	
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a ● b ● c]	
	【事業実施の効果】	[a ● b ● c]	
	【総合評価】	[A ● B ● C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。